

## 令和8年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名: 佐賀県

農業委員会名: 大町町農業委員会

## I 農業委員会の状況(令和8年4月1日現在)

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年7月20日

任期満了年月日 令和8年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	7	7
認定農業者	—	1
認定農業者に準ずる者	—	4
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	3	3	3

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	60
農業経営体数	60

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	62
女性	12
40代以下	7

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	22
基本構想水準到達者	4
認定新規就農者	3
農業参入法人	0
集落営農経営	5
特定農業団体	0
集落営農組織	5

※ 農業委員会調べ

畑の内訳(普通畑、樹園地、牧草畑)は、市町村において把握しているデータがある場合に記載して下さい。

単位:ha

	田	畑			計
		普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	269	30	—	—	299

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の目標

直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積とは、目標設定年度の前年度の統計データを指します。（令和7年度の目標設定においては、令和6年度の統計データから記載。）

### 1 最適化活動の成果目標

#### (1) 農地の集積

##### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)/(A)
	299	ha	251	ha	84.1 %
課題	山間部においては、担い手不足や面的繋がりが少ないことから集積が困難である。平坦部においては、担い手への集積はほぼ頭打ちとなっている状況で、今後は担い手の高齢化が問題となってくるため、現在の集積率を如何に維持していくか、また集約化の取り組みが重要である。				

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう

「新規集積面積（当該年中の集積面積（フロー）」とは、非担い手の農地を新たに担い手に権利設定した面積のことであり、既に担い手に権利設定されている農地の再設定は含みません。

##### ② 目標

農地の集積の目標年度	令和12	年度	集積率	85.0 %
今年度の新規集積面積	1	ha	農地面積(C)	299 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	252	ha	(目標)今年度末の集積率(E)=(D)/(C)	84.3 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

### (2) 遊休農地の解消

#### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	
		うち黄区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	0.3 ha	0.3 ha	0.0 ha
課題	中山間において担い手の高齢化、離農が進んでおり、遊休農地発生防止に努める必要がある。		

#### ② 目標

##### ア 既存遊休農地の解消

##### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	2.9 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.58 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

##### b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地面積	0.0 ha
----------------------------	--------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	-	黄区分の遊休農地の解消のための工程表について、いつまでに、どのような考え方で策定するかを記載
-------------------------	---	--

##### イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0 ha
---------------------------	--------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和5年度新規参入者	令和6年度新規参入者	令和7年度新規参入者
	2 経営体	0 経営体	0 経営体
	1.2 ha	0 ha	0 ha
課題	新規就農に関する相談がほとんどない状況である。関係機関と連携し新規就農促進を図る必要がある		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
	47.9 ha	153.6 ha	4.7 ha	68.7 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	6.9 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

「最適化活動を行う農業委員の人数」は、農業委員のうち、最適化活動を行う者の人数を記載

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	7 人
		農地利用最適化推進委員の人数	3 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
5月	新規参入の促進	新規参入者の情報収集に努める
8月	遊休農地の解消	農地利用状況調査の実施により、遊休農地の早期発見・解消に努める
12月	農地の集積	地域において、担い手への農地集積・集約に向けた話し合いを行う。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加回数

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	毎月第3水曜日	相談会名	ワンストップ就農相談会
参加者数	未定	開催場所	大町町役場
相談会の内容	農内でのに会する。相談会等の開催要領等を参考に、イベントの内容を記載。へ効率的かつ効果的に支援するため、相談を受ける関係者が一堂		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)